

近事研

# ねっとわーく近畿

第62号

2016.12.12

～編集・発行～

近畿公立小中学校事務職員研究会

会長 藤井 明美

所在地 神戸市立横尾小学校

神戸市須磨区横尾5-3

078-743-4511

<http://www.kinjiken.jp/>

## ごあいさつ

会長 藤井 明美

寒冷の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は近事研活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

去る8月の臨時代議員会で会長の任を務めさせていただくことになりました。何分経験不足のため皆様方にはいろいろとご迷惑をおかけすることがあると思いますが、役員一同力を合わせて、精一杯近事研活動の運営を進めてまいります。ご協力よろしく願いいたします。

近事研では、各单位研究会の置かれている状況はそれぞれ違いますが、「近畿はひとつ」の合い言葉のもと、お互いの実践を学びつつ学校事務職員の資質向上を図ることを目的に研究活動を進めています。今年度の研究大会は、第49回全国公立小中学校事務研究大会（京都大会）と同心円開催し、福岡県の分科会の運営を担当します。全事研京都大会の成功に向け、協力していきたいと考えています。研修事業は、事務職員の職能や資質向上を目的として来年1月19日に「学校事務セミナー」の開催を予定しています。また、第8期調査研究部は、各单位研究会から選出していただいた部員で新たな研究活動を開始します。広報活動では、「ねっとわーく近畿」の発行やホームページの更新を行い、近事研活動の内容をより広く発信し、情報提供に努めていきます。

今後も子供たちの学びに貢献できる職として学校事務を探究していくため、会員の皆様には近事研活動にご支援ご協力をいただきますようお願いいたします。



平成28・29年度役員です。よろしくお願いいたします。

役職名	名前	所属研究会
会長	藤井 明美	神戸市立小学校事務研究会
副会長	井澤 正雄	大阪府公立学校事務研究会
副会長(調査研究部長)	片岡 和美	滋賀県公立小中学校事務研究協議会
会計	藤後 華生	大阪府公立学校事務研究会
事務局長	山本 いく	奈良県公立小中学校事務研究会
事務局次長(研究担当)	藤谷 文子	京都市立学校事務研究会
事務局次長(広報担当)	毛利 美穂	神戸市立小学校事務研究会
監査	西畑 ひろみ	奈良県公立小中学校事務研究会
監査	倉辻 弘美	滋賀県公立小中学校事務研究協議会
顧問	田中 孝夫	滋賀県公立小中学校事務研究協議会

## 役員研修会・近事研サマーフォーラム報告

平成28年8月23日、エルおおさかにて役員研修会並びに近事研サマーフォーラムを開催しました。

### ◎ 役員研修会

今年度は午前中、各单位研究会の役員を対象にした研修会を行いました。

研修会では小グループに分かれて、それぞれの研究会活動について情報交換しながらこれからの研究会活動について考えました。

単位研究会によって制度や運営方法の違いがありますが、それぞれの研究会の魅力を語り合うことでグループが活気ある話し合いとなりました。未来につなぐために今ある研究会活動の残すべき点、変わるべき点についても話し合うことができました。

研修会後のアンケートでは、今回のようなグループワーク形式での話し合いで「他府県の様子もよくわかり視野が広がった」「今後もこのような研修を望みます」という意見が多数寄せられました。



### ◎ 近事研サマーフォーラム

#### 《調査研究部報告》

前半は、第7期調査研究部による2ヵ年の研究報告でした。

「チームで連携（つなぐ）未来への「わ」～進化・深化・真価～」をテーマに、チームとしてさまざまな「わ」～輪・和・話～で関わりあうことの重要性や、これからの学校の在り方と今後の改善方策について考えました。

2015年11月に実施した連携についてのアンケートの集計結果と考察を交えた報告で、アンケート結果からは、勤務する地域や事務職員自身の考えにより「連携」のとらえ方が大きく違うという実態や連携に関わるにはまず事務職員自身の意識改革が最も重要だととらえている会員が多いことがわかりました。また、「連携」について日常のよくある場面をロールプレイで紹介し「連携がうまくいかなかった時」と「連携がうまくいった時」では何が違うのか、課題は何かを問いかけてきました。「連携、つなぐこと」の意味を考えながら、事務職員の持つ強みとは、教員と異なる視点で学校全体を見渡せること



ことや、マネジメントに必要な「人」「物」「金」「情報」をうまくつなげられることであると述べ、その強みを生かしてどう関わっていくのか、何のために連携をするのか、事務職員が連携に関わることでどんな効果があるのかを具体的な取り組みについて示しながら一緒に考えることができました。

最後に学校や地域の実情に合わせながら新しい環境に適応していこうとする進化・より職務を深める深化・事務職員の持つ真の価値や能力を生かす真価へと繋げ、子供たちの健やかな成長へと繋げていきたいと締めくくりました。

## 《講演会》

### 「変わる学校変わらない学校—学校マネジメントの成功と失敗の分かれ道」

学校マネジメントコンサルタント、経営コンサルタント 妹尾 昌俊 様

後半は学校マネジメントコンサルタント、経営コンサルタント妹尾昌俊様に最近の著書のタイトル「変わる学校変わらない学校—学校マネジメントの成功と失敗の分かれ道」と同じ演題でご講演をいただきました。



1. いま社会は、大きな転換点にあり、その中に学校もある。先行きが不透明な中で、学校も教職員も少しずつでも改善を重ね、学習し続けていく必要がある。

10年、20年後、今ある職業の中で、人工知能やロボットなどに代替可能性の高い職業として学校事務職員が挙がっているというちょっとショッキングな情報提示がありました。事務職員は生き残れるのか?! 妹尾先生からは、中教審教育課程部会教育課程特別部会審議のまとめ（素案）では、現在、私たち人間に求められるのは定められた手続きを効率的にこなすことにとどまらず、自分なりに試行錯誤し新たな価値を生み出していくことであると示されているが、それは子どもに対してだけでなく教員や事務職員にこそ言えるのではないかと投げかけがありました。私も仕事をこなすことだけで満足する事務職員になっていないか振り返りの瞬間でもありました。

2. ”変わる学校”と”変わらない学校”がある。両者の違いはどこで、なぜ生まれるのか？

学校づくりでは教職員の個人力に学校の組織力が掛け合わさって大きな組織力となります。そんなチームには何が重要なのかを山登りを例にあげてわかりやすく説明していただきました。

どこの山にどこまで登る？ 到達目標＝到達地点  
どの道で行く？迷ったらどう軌道修正する？ プロセス＝道筋、ルート  
誰と行く？ チーム・ネットワーク＝仲間  
そもそもなんで山登りをする？ ミッション

これらのことが明確に示されて、はじめてチームが同じ方向を向き同じゴールをめざすことができ、学校運営がスムーズになり学校の組織力が発揮されると語られました。

3. 今日から、9月から、あなたは何をしていくことができそうか？

学校事務職員として、今後どんな仕事の力を伸ばしていくべきか。まずは確実に業務を遂行する力（保つ能力）、次によりよくする能力（改善力）、そして新しいものを生み出す能力（イノベーション力）が求められていると大きなヒントをいただきました。



**あなたの仕事は何のためにありますか？  
それを実現するためにどうしますか？**

講演中のこの言葉が心にとまりました。人工知能やロボットなどに替えることのできない私たち学校事務職員の強みを明確にし、チームの一員として力を発揮したいと思いました。

<文責 森井 清子>

平成28・29年度の調査研究部員です。  
よろしくお願いいたします。

	氏名	単位研究会名
部長	片岡 和美	滋賀県公立小中学校事務研究協議会
部員	永田 勝啓	神戸市立小学校事務研究会
〃	中村 恭子	神戸市立小学校事務研究会
〃	直井 義行	大阪府公立学校事務研究会
〃	山村 圭佑	大阪府公立学校事務研究会
〃	上田 幸子	奈良県公立小中学校事務研究会
〃	梅田 直子	奈良県公立小中学校事務研究会
〃	佐藤 隆彦	京都市立学校事務研究会
〃	永瀬 唯	京都市立学校事務研究会
〃	堀井 直樹	滋賀県公立小中学校事務研究協議会
〃	中嶋 多恵子	滋賀県公立小中学校事務研究協議会



### 代議員会報告

平成28年10月25日(火)に、たかつガーデンにて代議員会が行われました。

平成27年度事業報告、会計決算及び監査報告に続き、平成28年度事業計画案、会計予算案が提案され、承認されました。



### 学校事務セミナーのお知らせ

期日 平成29年1月19日(木)

会場 大阪府教育会館(たかつガーデン) 8階「たかつ」

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町7-11 TEL: 06-6768-3911

日程 14:00 14:20 15:00 16:30 16:45

受付

開会行事

研修会

質疑応答

講師 新潟県新潟市立東山の下小学校

事務長(事務主幹) 松野 千恵美 様

演題 「学校財務を切り口とした地域とともにある学校づくり  
～参画と協働を生み出す学校事務職員の役割～」